

## 第22回（令和5年度）

# シニア地域活動入門講座（第3回）

日時：令和5年10月11日（水） 講座 15:00～17:00、交流会 17:30～19:00

場所：・講座 ヒタチエ別館3階 会議室A（市社会福祉協議会）

・交流会 シビックセンター704会議室

内容：身近な地域で支えあいの活動を ～援助が必要な方を支える仕組みとは～

- 講座趣旨説明：宮本 淳 氏（市社会福祉協議会 局長補佐兼地域福祉係長）  
可能な限り、住み慣れた場所で長く自分らしい生活をしたいという願いは誰もが思っている。高齢・障害などにより、日常生活のうえで自助の範囲で出来ることが狭まってくる。在宅で生活するためには、何らかの支援が必要となる。様々な取り組み・支援活動を進めているが、これから求められる支援の仕組みについて皆さんと共に考える場としたい。

### 【活動状況発表】

- 地域包括支援センターについて:

石 崇宜 氏（地域総括センター銀砂台センター長）

地域包括支援センターは、高齢者の暮らしを支える総合窓口、「介護について」「生活の不安」「地域の人と交流したい」「もっと社会に参加したい」いろいろな相談・活動の窓口となっている。どなたでも気軽に相談できます。対象者本人と支援する側の関係機関が情報を共有し連携しての支援が大切です。日立市の地域包括支援センターは、学区別に8カ所ある。

- ケアマネジャーの役割:

伊藤 奈央也 氏（居宅介護支援事業所銀砂台 介護支援専門員）

要介護状態になっても、自宅で自立して自分らしく生活出来るよう「生活のこと」「健康のこと」「介護のこと」など家族を含めて一緒に考え、サポートしている。人として、それぞれの考えや価値観について尊重することが大切です。また関係機関と共に時には地域の方々と連携しての支援も必要となる。

- 生活支援コーディネーターについて:

横須賀 桂子 氏（市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター）

住み慣れた地域で長く、暮らし続けることができるように困りごとを把握し、支援内容を考え「困っている人」と「支援者」を繋げる仕事を担当している。

・困りごとの把握 ・サービスの紹介、マッチング  
・地域の社会資源の把握 ・サービス提供事業者と情報共有

具体的な活動の紹介は「近所の方からのSOS !!」

日立市社協だより NO161(令和4年5月5日号)を参照



趣旨説明 宮本局長補佐



発表者の皆さん



講座司会 畑山 j-net 共同代表



講義の様子



熱心に聴く受講生の皆さん



交流会司会 泉スタッフ



挨拶 豊田事務局長



歓談する受講者



乾杯の音頭 畑山 j-net 共同代表



受講者挨拶



閉会 竹本 j-net 共同代表